

三原市では、昭和40年に建設した市役所本庁舎について、平成31年度までに現在地で建替を行う方針を定め、今年7月頃までに、新庁舎の機能や規模などの考え方をまとめた新庁舎建設基本計画を策定します。

第2回（3/14開催）に引き続き、第3回ワークショップを開催しました。

### 第3回

## テーマ「新庁舎の機能について語ろう その2」

日時：平成27年4月4日（土） 13:00~15:30

前回のふりかえりを踏まえ、具体的なボリュームを理解しながら、敷地内と庁舎内の機能の配置についてグループで話し合い、発表してもらいました。

### 1 これまでのふりかえり

第1回：現庁舎を見学し、現庁舎のよいところ、悪いところを再確認した後、望ましい新庁舎について、考えていただきました。

第2回：3つのグループに分かれ、第1部では「どのようにまちとつながるか、人がつながるか」、第2部では「市民に関わりの深い機能」という視点で新庁舎の機能について話し合っていました。新庁舎に望むあらゆる意見が出されました。

### 2 新庁舎建設事業の検討状況の説明

職員スタッフから、新庁舎の建設手順やスケジュールなどの前提となる方針と現在策定中の「基本計画」における基本理念・基本方針（案）を説明しました。

その後、近年建設された他自治体の庁舎等の事例をスライドで紹介しました。



- 〈基本理念(案)〉 瀬戸内をのぞむ シンプルで機能的な“まちづくりの拠点”をめざして
- 〈基本方針(案)〉
  - 1 誰もが利用しやすく、質の高い市民サービスを提供する庁舎
  - 2 市民の安全・安心を支える庁舎
  - 3 経済的で将来の変化に対応できる庁舎
  - 4 立地を活かし、まちとつながる庁舎
  - 5 親しみを感じられ、ひとがつながるきっかけをつくる庁舎

### 3 テーブルワーキング

〈第1部 模型を使った整備計画づくり〉

参加者が3つのグループに分かれて、どのように敷地を使っていけばいいのかが、具体的にボリューム模型を使いながら、みなさんに考えていただきました。新庁舎の玄関の位置、緑地、駐車場の位置や大きさについて、そして、敷地周辺の道路や西野川との関わり、人の動線など、何度も模型を置き換えながら話し合いました。



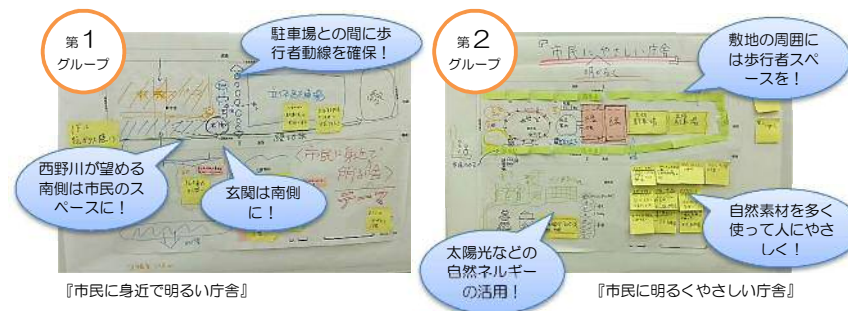
グループに分かれての話し合い。模型を使って試行錯誤

意見を書き出し、整理しました

〈第2部 建物内部の配置計画づくり〉

庁舎の内部について、市民が利用する機能について、具体的にどのように配置していけばよいか、また、その時に配慮したいことはどんなことかを考えました。

まずは、各自で考え、紙に書き出し、その後、グループで話し合い、まとめを代表者から発表しました。



第1グループ

駐車場の間に歩行者動線を確保!

西野川が望める南側は市民のスペースに!

玄関は南側に!

第2グループ

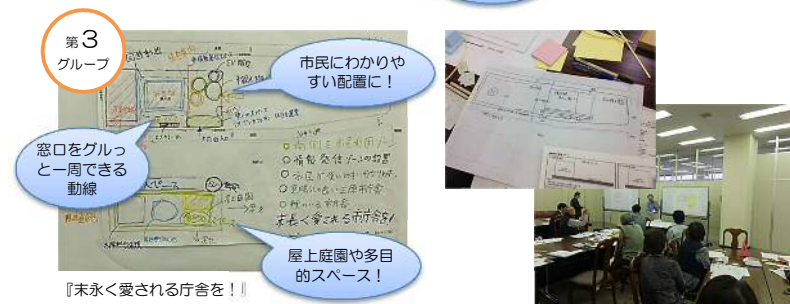
敷地の周囲には歩行者スペースを!

太陽光などの自然エネルギーの活用!

自然素材を多く使って人にやさしく!

『市民に身近で明るい庁舎』

『市民に明るくやさしい庁舎』



第3グループ

市民にわかりやすい配置に!

窓口をグルッと一周できる動線

屋上庭園や多目的スペース!

『未永く愛される庁舎を!!』